

パブリックコメント

このページは、<http://dtcn-wisdom.jp/00001-2011-1-16pab.pdf> からダウンロード出来ます。

要求事項

<http://www5.cao.go.jp/koukyo/kihon/pdf/100706kihon.pdf> の 67 ページに示してある

(現) 防衛装備品の補給・維持業務についてのパブリックコメントのタイトルの訂正要求

(現) 防衛装備品の補給・維持等に関する業務を包括的にアウトソーシングし、その運用の継続性や信頼性に関して官側が目標を設定し、契約会社がこれを達成する契約方式である P B L については、平成 22 年度に防衛省において P B L の適用に最適な防衛装備品の検討等に関する調査研究を実施し、当該調査研究の結果を踏まえ、平成 23 年度中に、公共サービス改革法に基づく事業の実施について検討を進め一定の結論を得る。

についての意見。

文字数が制限を超えていますので、以下の URL を開いてください

<http://dtcn-wisdom.jp/00001-2011-1-16pab.pdf>

(1)

PBL については小生提案の知識から知恵を創りだす方法による問題解決の方法と同じで、課題の上位目的から、問題をその課題を実現するための一条件としてとらえ、その課題は上位目的より認識して実現すべきものとして位置づけます。(<http://dtcn-wisdom.jp/00001-R3.pdf> の本の 12~19 ページに説明してあります。) (上位目的から認識してその実現の方策を考えると、問題点からその原因除去の方策を考えるのに較べると、その実現策に、上位目的を実現するための方策に齟齬をきたしません)

そして、分析をすることと言うことは過去分析、未来分析、現在分析の三つの視点から見る、(論文、<http://dtcn-wisdom.jp/00001-J-analysis.pdf> を参照にしてください

(2) 「防衛装備品の補給・維持業務についてのパブリックコメント」のタイトルを

(新) 「**防衛装備品の本体と付属装備品の選定、補給、維持業務、廃棄業務についてのパブリックコメント**」に、置き換えていただくと、**下記の理由により始めてその狙いとすることが実現できます。**

理由

(1) 防衛装備品のアフターサービスの諸条件は、装備品の選定の価格と共に決まります。

あとで、追加したり、後で信頼性要求を、補用品到着後の保証期間を (商社が入るため今までは受け入れ検査後、6 ヶ月~1 年、通常は機体取り付け後) 短くされたり価格の改訂ルールのエスカレーション式に不備があったりしないように一括して決めるものです。また補用品を多くもたされたりすることを、防止しなければなりません。

また、民間航空ではあれば、例えば利用期間が終わった 747 を廃棄するときも、747 の中古機の全体を再整備をして、機体全体を売るより、エンジンその他の中古装備品を個別に売った方が高く売れると言った例がありますので、そこまでの、配慮が必要になります。(これをライフサイクル・コスト・コントロールと呼びます)

(2) この前の F-X (F-2) の選定の時に、防衛省の内部の統制がとれていなかったために、商社と米国のメーカーの連合軍に手の内が (技術、調達部門とも) 読まれてしまい結果的にえらく高いものについてしまった、これは、防衛省、自衛隊の方々が、2 年ごとに担当が変わることも影響して、組織全体が民間企業が購入先を決める前に、外部に手の内を明かせずに、相手側に調達部門 (防衛省で言えば整備施設本部) を窓口、航空幕僚幹部、技術研究本部が、一致協力して、相手側に徹底的に競争をさせる方式をとる場合に較べ、従来の防衛省は、シロトに近いという事情があるためです。

これを、輸入装備品については (これをリカバーするために防衛省は、CX、PX 共開発時に、バーゲンニングパワーがほしいと言っています。防衛省がバーゲンニングパワーを持っていないと民間で輸入装備品の値段を基準として、それを国産化した国内の装備品メーカーでの余剰工数があるこ

とを知っている防衛省の職員の、それが、バレたらいずれも社会的な信用を失うので、([暗黙のカルテル](#)) どうしようという三竦みの状態からなかなか抜け出せません。(2011-1月現在)
このような失敗は、民間企業にまずありません。

- (3) 今回、鶴田さんをお連れしたのを機会に、鶴田さんの 2008-3-17 に有人宇宙システム(株)で、話された講演のビデオとそれを文章化した資料を江崎はもっていますので、メールの宛先、内閣府の方 ([田中秀明参事官をはじめとする、3人の方](#)) にお送りします(その予備として計4枚を本日、宅急便で、送りますので、コピーなどをして、ご自由にお使ください。(文書の内容は、<http://te-wisdom.net/2008-3-17.pdf> でダウンロードできます)